



平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 26 年 1 月 31 日

上場会社名 東芝機械株式会社

コード番号 6104

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 飯村 幸生

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 高木 慎司

四半期報告書提出予定日 平成 26 年 2 月 12 日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

URL <http://www.toshiba-machine.co.jp>

(TEL) 055(926)5141

配当支払開始予定日 -

(百万円未満切捨て)

1. 平成 26 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 3 月期第 3 四半期	78,624	△11.2	2,914	△56.0	4,122	△48.3	2,126	△67.8
25 年 3 月期第 3 四半期	88,539	5.5	6,622	33.7	7,970	47.2	6,608	66.9

(注) 包括利益 26 年 3 月期第 3 四半期 4,199 百万円 (△38.0%) 25 年 3 月期第 3 四半期 6,770 百万円 (87.9%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26 年 3 月期第 3 四半期	13.99	—
25 年 3 月期第 3 四半期	43.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26 年 3 月期第 3 四半期	144,627	82,920	57.3
25 年 3 月期	142,239	79,399	55.8

(参考) 自己資本 26 年 3 月期第 3 四半期 82,920 百万円 25 年 3 月期 79,399 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25 年 3 月期	—	4.50	—	4.50	9.00
26 年 3 月期	—	3.50	—	—	—
26 年 3 月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 26 年 3 月期の連結業績予想 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	△4.8	5,500	△31.6	6,000	△38.9	3,500	△55.6	23.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名 — ）、除外 — 社（社名 — ）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	166,885,530株	25年3月期	166,885,530株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	14,856,495株	25年3月期	14,853,307株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	152,031,020株	25年3月期3Q	152,032,516株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①平成26年3月期 第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間における経済情勢については、国内は、政府のデフレ脱却の諸施策による円高是正や株価の上昇等の結果、緩やかな回復が見られ、海外は、中国・東南アジア等新興国経済が低迷する一方、北米経済は堅調さを維持しました。当社グループを取り巻く経済環境におきましても、国内市場の設備投資は弱含みながらも回復基調にあり、海外市場は、中国市場の停滞が継続するなか、一部の新興国と米国・メキシコ等には堅調な需要がありました。

このような状況のもとで、当社グループは中期経営計画「TMAC Plan Advanced I」(Toshiba Machine Adapt to the Change Plan Advanced I)を平成25年4月1日からスタートさせ、前連結会計年度に続き「先進と拡張」を基本コンセプトとして諸施策を実行し、国内外市場向けの新商品開発、市場の開拓、受注の確保、財務体質の改善等に全力をあげ、グローバルなブランド力の向上に取り組んでいます。

当第3四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高は、前連結会計年度後半の受注減少を受け、786億2千4百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

損益につきましては、売上規模の縮小と市場環境の厳しさの影響を受けて、営業利益は、29億1千4百万円（前年同期比56.0%減）、経常利益は、41億2千2百万円（前年同期比48.3%減）、四半期純利益は、21億2千6百万円（前年同期比67.8%減）となりました。

②セグメント別の概況

成形機事業（射出成形機、ダイカストマシン、押出成形機など）

射出成形機は、北米の自動車、家電関連業界向けは堅調な販売が続きましたが、これまで好調であった東南アジア等の新興国における販売が減少しました。一方、国内の自動車関連業界、住設、管工機材、中国のモバイル機器、インドネシアの自動車関連業界向け等の需要が継続し、受注は好調に推移しています。

自動車、二輪車関連業界向けを主な供給先とするダイカストマシンは、中国、東南アジア等新興国の販売が減少したものの、世界的な自動車産業の活況等により、受注は国内および韓国・北米を中心に堅調に推移しています。

押出成形機は、国内外の光学関連業界や二次電池向けのシート・フィルム製造装置の需要がありました。

この結果、成形機事業全体の売上高は、499億5千9百万円（前年同期比8.0%減）、営業利益は、30億5千9百万円（前年同期比39.7%減）となりました。

工作機械事業（大型機、門形機、横中ぐり盤、立旋盤、精密加工機など）

工作機械は、中国、東南アジア等の新興国における成長鈍化の影響を受け、販売が大きく減少しました。一方、国内の自動車・航空機関連業界の復調や各種補助金の効果による設備投資意欲の高まりにより、受注環境は好転していますが、大型機の需要活性化には至っておりません。

精密加工機は、国内デジタル家電メーカーの業績悪化に伴う設備投資の抑制による販売の低迷が続きましたが、中国および台湾のモバイル機器用の精密金型向けの需要が好転しつつあります。

この結果、工作機械事業全体の売上高は、161億7千3百万円（前年同期比18.1%減）、営業損失は、3億4千3百万円（前年同期は営業利益12億9千万円）となりました。

油圧機器事業

建設機械業界向けを主な供給先とする油圧機器は、最大の市場である中国における建設機械の需要の低迷が続きました。

この結果、油圧機器事業の売上高は、58億7千9百万円（前年同期比25.5%減）、営業損失は、1億2千7百万円（前年同期は営業損失4千8百万円）となりました。

その他の事業（電子制御装置など）

電子制御装置は、台湾・韓国をはじめとした海外の工作機械、産業機械関連業界向けの販売の低迷が続きましたが、国内外で自動化関連設備として産業用ロボットの需要は好転しています。

この結果、その他の事業全体の売上高は、84億5千8百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は、6千2百万円（前年同期は営業損失1千7百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ23億8千8百万円増加し、1,446億2千7百万円となりました。増加の主な内訳は、受取手形及び売掛金が66億3千万円減少したものの有価証券が35億円、商品及び製品が25億9千万円、仕掛品が49億5千8百万円増加したこと等によります。

負債は、前連結会計年度末に比べ11億3千3百万円減少し、617億6百万円となりました。減少の主な内訳は、未払法人税等が24億2千8百万円減少したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ35億2千1百万円増加し、829億2千万円となりました。増加の主な内訳は、為替換算調整勘定が20億円、その他有価証券評価差額金が8億2千6百万円増加したこと等によります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は57.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済環境は、国内経済の改善に加え、海外市場でも地域、製品により受注環境に明るさが見え始めていますが、一部新興国の成長鈍化、国内外企業との競争激化など予断を許さない状況が続くものと予想されます。

このような状況のもとで、当社グループは、有望な新市場の開拓、市場ニーズにあった新製品の投入、ブランド力の向上、さらなる効率化により確固たる経営基盤を構築し、収益確保に努めてまいります。

なお、通期の業績につきましては、平成25年4月30日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,327	18,672
受取手形及び売掛金	40,006	33,376
有価証券	17,000	20,500
商品及び製品	5,207	7,797
仕掛品	18,569	23,527
原材料及び貯蔵品	67	75
繰延税金資産	3,177	1,811
その他	1,626	3,095
貸倒引当金	△142	△202
流動資産合計	106,840	108,654
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,387	34,792
減価償却累計額及び減損損失累計額	△24,192	△24,751
建物及び構築物（純額）	10,194	10,041
機械装置及び運搬具	29,909	29,689
減価償却累計額及び減損損失累計額	△27,074	△27,094
機械装置及び運搬具（純額）	2,834	2,594
土地	6,192	6,458
リース資産	190	220
減価償却累計額及び減損損失累計額	△112	△134
リース資産（純額）	77	86
建設仮勘定	39	470
その他	7,159	7,319
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,667	△6,865
その他（純額）	491	454
有形固定資産合計	19,829	20,104
無形固定資産		
のれん	—	3,214
その他	400	500
無形固定資産合計	400	3,714
投資その他の資産		
投資有価証券	14,438	11,283
長期貸付金	92	139
繰延税金資産	64	56
その他	634	730
貸倒引当金	△62	△58
投資その他の資産合計	15,168	12,152
固定資産合計	35,398	35,972
資産合計	142,239	144,627

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,998	24,185
短期借入金	16,859	11,042
未払法人税等	2,642	214
未払費用	5,628	4,478
製品保証引当金	584	589
その他	5,275	5,062
流動負債合計	52,987	45,574
固定負債		
長期借入金	—	5,300
長期未払金	14	8
繰延税金負債	1,273	1,840
退職給付引当金	8,411	8,841
役員退職慰労引当金	52	36
資産除去債務	51	46
その他	48	58
固定負債合計	9,851	16,132
負債合計	62,839	61,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,484	12,484
資本剰余金	19,600	19,600
利益剰余金	56,306	57,002
自己株式	△10,039	△10,041
株主資本合計	78,352	79,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,221	3,048
繰延ヘッジ損益	△0	△1
為替換算調整勘定	△1,174	826
その他の包括利益累計額合計	1,047	3,874
純資産合計	79,399	82,920
負債純資産合計	142,239	144,627

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	88,539	78,624
売上原価	63,074	56,270
売上総利益	25,465	22,353
販売費及び一般管理費	18,843	19,439
営業利益	6,622	2,914
営業外収益		
受取利息	47	69
受取配当金	129	159
為替差益	362	731
受取賃貸料	134	148
持分法による投資利益	1,353	762
その他	181	110
営業外収益合計	2,209	1,981
営業外費用		
支払利息	161	99
退職給付会計基準変更時差異の処理額	347	347
その他	352	326
営業外費用合計	861	772
経常利益	7,970	4,122
特別利益		
固定資産売却益	3	33
関係会社株式売却益	2,494	—
特別利益合計	2,498	33
特別損失		
固定資産処分損	5	17
関係会社株式評価損	—	9
投資有価証券評価損	6	—
特別損失合計	11	27
税金等調整前四半期純利益	10,457	4,128
法人税、住民税及び事業税	2,674	469
法人税等調整額	1,174	1,531
法人税等合計	3,848	2,001
少数株主損益調整前四半期純利益	6,608	2,126
四半期純利益	6,608	2,126

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,608	2,126
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	826
繰延ヘッジ損益	12	△1
為替換算調整勘定	73	1,247
その他の包括利益合計	161	2,072
四半期包括利益	6,770	4,199
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,770	4,199
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	成形機	工作機械	油圧機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	54,309	19,695	7,823	81,828	6,711	88,539	—	88,539
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	46	63	109	1,913	2,022	(2,022)	—
計	54,309	19,741	7,886	81,938	8,624	90,562	(2,022)	88,539
セグメント利益または 損失(△)	5,070	1,290	△48	6,311	△17	6,294	328	6,622

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子制御装置等の事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益または損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(注3) セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	成形機	工作機械	油圧機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	49,959	16,119	5,843	71,921	6,702	78,624	—	78,624
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	54	36	91	1,755	1,846	(1,846)	—
計	49,959	16,173	5,879	72,012	8,458	80,471	(1,846)	78,624
セグメント利益または 損失(△)	3,059	△343	△127	2,588	62	2,651	263	2,914

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子制御装置等の事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益または損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(注3) セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。